



# 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名 東洋エンジニアリング株式会社  
 コード番号 6330 URL <http://www.toyo-eng.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田 豊  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 脇 謙介  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月5日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 047-454-1521

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	31,574	△8.2	△27	—	95	△79.8	238	—
23年3月期第1四半期	34,411	△26.9	332	△85.1	474	△84.7	△52	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 442百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △695百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	1.24	—
23年3月期第1四半期	△0.27	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	196,297	66,543	33.0
23年3月期	198,387	67,096	32.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 64,875百万円 23年3月期 65,339百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	80,000	4.1	△1,000	—	△900	—	△1,000	—	△5.21
通期	180,000	15.6	2,500	△63.3	2,000	△71.5	500	△86.7	2.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	192,792,539 株	23年3月期	192,792,539 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	862,160 株	23年3月期	858,030 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	191,933,067 株	23年3月期1Q	192,035,695 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続を終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表等 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
4. 補足情報 .....	9
(1) 受注実績 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、引き続き、BRICs、ASEANなど新興国が成長を維持し、先進国において欧米の信用不安や失業率の高止まりなどの懸念があるものの、全体としてはゆるやかな回復基調にありました。日本経済においては、東日本大震災により景気回復に大きくブレーキがかかり、生産、消費の落ち込み、円高、供給不足による輸出の低迷などが懸念されています。

当社グループの事業環境は、エネルギー分野、社会インフラ分野において、南米、アジア等を中心に需要拡大期待による設備投資計画が具体化してきており、また、世界的な人口の増加を背景として、当社がライセンスを保有する肥料(尿素)プラントの建設計画も増加傾向にあります。しかしながら、一方で、石油、化学会社等の企業においては、設備投資を先送りする慎重な姿勢も見られます。また、プラント市場での受注競争は、韓国等の新興国コントラクターの台頭による厳しさが続いており、当社グループを取り巻く事業環境は、受注面において予断を許さない状況が続いています。

このような状況の中、当社グループは、顧客とのパートナーシップの一層の強化に努めるとともに、新興国に保有する現地法人の積極活用や海外企業との提携等によりコスト競争力の強化を図り、受注の確保に注力しました。当第1四半期連結累計期間における受注高は、362億円(前年同四半期比65.1%増)に留まる結果となりましたが、引き続き、エネルギー分野および社会インフラ分野を中心に、大型案件などの獲得に向け注力して参ります。

一方業績面では、利益目標達成に向けて、プロジェクトの確実な遂行に努めるとともに、固定費・プロジェクト経費の削減を継続して参りました。また、東日本大震災の復旧、復興支援に関しては、震災復興チームを立ち上げ、エンジニアリング会社として顧客のニーズに対して迅速、的確な対応を行っております。

その結果、当第1四半期連結累計期間については、売上高は315億円(前年同四半期比8.2%減)、営業損失は0億円(前年同四半期は営業利益3億円)、経常利益は0億円(前年同四半期比79.8%減)、四半期純利益は2億円(前年同四半期は四半期純損失0億円)となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

## 〔EPC事業〕

東南アジア、南米等をはじめとした各地域で遂行しているエネルギー関連等の大型案件の進捗などに伴い、売上高284億円(前年同四半期比10.0%減)、営業損失2億円(前年同四半期は営業利益1億円)となりました。

## 〔IT事業〕

東洋ビジネスエンジニアリング株式会社において、他社開発ERPパッケージ製品を基に展開するソリューション事業および自社の独自開発ERPパッケージ製品に基づくプロダクト事業などを基盤として、売上高24億円(前年同四半期比17.9%増)、営業損失0億円(前年同四半期は営業損失0億円)となりました。

## 〔不動産賃貸・管理事業〕

株式会社テックエステートおよび株式会社サンテックにおいて、不動産賃貸・管理事業を行っており、千葉県習志野市商業施設賃貸事業や、その他住宅賃貸・管理事業などの事業収入を基盤として、売上高6億円(前年同四半期比5.1%減)、営業利益2億円(前年同四半期比1.3%減)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から20億円減少し、1,962億円となりました。現金預金が6億円、未成工事支出金が12億円、未収入金が10億円、その他流動資産が6億円増加した一方、営業債権の回収が進んだことで、受取手形・完成工事未収入金等が63億円減少したことによるものです。

負債については、短期借入金が16億円増加、未成工事受入金が52億円増加した一方、営業債務の支払に伴い、支払手形・工事未払金等が78億円減少したことなどにより、前連結会計年度末から15億円減少の1,297億円となりました。

純資産については、四半期純利益2億円を計上した一方で、配当金の支払による減少9億円などにより前連結会計年度末から5億円減少の665億円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の第2四半期(累計)の連結業績予想につきましては、平成23年5月13日の決算発表時に公表した業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## (税金費用の計算)

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果になる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減したうえで、法定実効税率を乗じて計算しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表等

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	45,069	45,694
受取手形・完成工事未収入金等	30,737	24,393
有価証券	43,992	44,362
未成工事支出金	18,763	19,984
繰延税金資産	1,111	1,216
未収入金	8,400	9,497
その他	2,989	3,658
貸倒引当金	△2,372	△2,346
流動資産合計	148,693	146,462
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	29,478	29,467
機械・運搬具及び工具器具備品	3,896	3,987
土地	16,805	16,801
リース資産	2,107	1,980
建設仮勘定	119	491
減価償却累計額及び減損損失累計額	△20,850	△21,084
有形固定資産合計	31,557	31,644
無形固定資産	4,717	4,721
投資その他の資産		
投資有価証券	9,572	9,496
長期貸付金	4,588	4,582
繰延税金資産	470	537
その他	4,013	4,061
貸倒引当金	△5,226	△5,208
投資その他の資産合計	13,419	13,468
固定資産合計	49,694	49,835
資産合計	198,387	196,297

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	40,811	32,945
短期借入金	18,774	20,410
1年内償還予定の社債	1,000	1,000
未払法人税等	533	58
未成工事受入金	33,951	39,207
賞与引当金	1,053	599
完成工事補償引当金	1,892	1,847
工事損失引当金	677	750
災害損失引当金	95	78
その他	6,472	7,202
流動負債合計	105,261	104,102
固定負債		
長期借入金	15,163	14,823
リース債務	1,281	1,228
繰延税金負債	5	9
退職給付引当金	4,971	4,915
修繕引当金	842	891
その他	3,764	3,782
固定負債合計	26,029	25,652
負債合計	131,290	129,754
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,198	18,198
資本剰余金	20,759	20,359
利益剰余金	28,434	28,113
自己株式	△347	△349
株主資本合計	67,045	66,322
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	471	392
繰延ヘッジ損益	△18	△13
為替換算調整勘定	△2,157	△1,826
その他の包括利益累計額合計	△1,705	△1,447
少数株主持分	1,756	1,668
純資産合計	67,096	66,543
負債純資産合計	198,387	196,297

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
完成工事高	34,411	31,574
完成工事原価	27,947	26,995
完成工事総利益	6,463	4,579
販売費及び一般管理費	6,130	4,606
営業利益又は営業損失(△)	332	△27
営業外収益		
受取利息	75	77
受取配当金	49	99
持分法による投資利益	189	107
為替差益	—	35
雑収入	59	67
営業外収益合計	374	387
営業外費用		
支払利息	167	246
為替差損	22	—
雑支出	42	18
営業外費用合計	232	265
経常利益	474	95
税金等調整前四半期純利益	474	95
法人税等	583	△109
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△108	205
少数株主損失(△)	△56	△32
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△52	238



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△108	205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△604	△78
繰延ヘッジ損益	△1	5
為替換算調整勘定	△20	292
持分法適用会社に対する持分相当額	38	17
その他の包括利益合計	△587	236
四半期包括利益	△695	442
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△581	496
少数株主に係る四半期包括利益	△114	△54

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	EPC事業 (百万円)	IT事業 (百万円)	不動産賃貸・ 管理事業 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
売上高						
外部顧客への売上高	31,621	2,061	727	34,411	—	34,411
セグメント間の内部売上高または振替高	41	13	59	114	△114	—
計	31,663	2,075	787	34,526	△114	34,411
セグメント利益または損失(△)	127	△44	250	332	—	332

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	EPC事業 (百万円)	IT事業 (百万円)	不動産賃貸・ 管理事業 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
売上高						
外部顧客への売上高	28,453	2,431	690	31,574	—	31,574
セグメント間の内部売上高または振替高	54	8	57	120	△120	—
計	28,507	2,440	747	31,695	△120	31,574
セグメント利益または損失(△)	△211	△61	246	△26	△0	△27

(注) 1 セグメント利益または損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益または損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 受注実績

当第1四半期連結累計期間におけるEPC事業およびIT事業の受注実績は次のとおりであります。

期別	工事別	期首繰越 工事高 (百万円)	期中受注 工事高 (百万円)	計 (百万円)	期中完成 工事高 (百万円)	次期繰越 工事高 (百万円)
前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	海外					
	化学肥料プラント	33,908	2,551	36,459	3,282	32,367
	石油化学プラント	35,475	2,929	38,405	6,707	31,015
	石油精製プラント	44,600	1,657	46,258	5,854	38,247
	エネルギー関連プラント	13,920	1,082	15,003	1,756	13,015
	一般製造設備関連	2,594	233	2,828	449	2,380
	IT関連	95	21	117	38	78
	その他	1,356	230	1,587	536	879
	小計	131,952	8,706	140,659	18,625	117,983
	国内					
	石油化学プラント	8,893	285	9,178	5,882	3,297
	石油精製プラント	5,708	391	6,100	3,054	3,023
	エネルギー関連プラント	5,073	3,417	8,491	503	7,988
	一般製造設備関連	12,536	4,871	17,407	1,882	15,524
IT関連	3,340	2,082	5,423	2,023	3,309	
その他	673	2,176	2,850	1,711	1,220	
小計	36,226	13,225	49,452	15,058	34,363	
合計	※△7,930 168,179	21,932	190,111	33,683	※△10,658 152,347	
当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	海外					
	化学肥料プラント	55,473	1,342	56,816	2,432	53,793
	石油化学プラント	14,779	20,199	34,978	4,258	30,392
	石油精製プラント	19,466	1,909	21,375	4,862	15,274
	エネルギー関連プラント	94,122	445	94,567	10,893	83,200
	一般製造設備関連	19,170	1,202	20,372	306	20,065
	IT関連	97	38	135	52	83
	その他	293	352	646	108	536
	小計	203,403	25,490	228,893	22,914	203,346
	国内					
	石油化学プラント	823	3,960	4,783	55	4,728
	石油精製プラント	518	396	914	264	646
	エネルギー関連プラント	6,870	932	7,803	290	7,512
	一般製造設備関連	8,968	1,072	10,041	3,419	6,622
IT関連	3,300	2,657	5,957	2,378	3,554	
その他	809	1,706	2,515	1,561	950	
小計	21,290	10,726	32,016	7,969	24,013	
合計	※△8,193 224,693	36,216	260,909	30,884	※△9,604 227,360	

- (注) 1 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しており、消費税等を含んでおりません。
- 2 期中完成工事高は、外貨建受注工事高のうち期中完成工事高に係る為替差分(前第1四半期連結累計期間2,157百万円、当第1四半期連結累計期間1,954百万円)を控除しております。
- 3 次期繰越工事高は、前期以前に受注した工事の契約変更等による調整分(前第1四半期連結累計期間1,923百万円、当第1四半期連結累計期間710百万円)を控除しております。
- 4 ※印は、外貨建契約に関する為替換算修正に伴う減額を示しております。